



# 世尊寺

世界遺産「吉野・大峯」へとつながる修験文化発祥の寺院

古くは吉野寺、比叢寺、現光寺、栗天奉寺と呼ばれた世尊寺。『日本書紀』の記録や瓦などから、少なくとも飛鳥時代(7世紀後半)には存在していたと推測されます。戦乱による火災や時勢の変革に遭い、現在残っている建物は後世に再建されたものです。県指定文化財である太子堂や仏像など、数多くの歴史的文化財が残されています。

- 奈良交通バス「比叢口」下車、北へ徒歩約20分。大淀町ふれあいバス「世尊寺駐車場前」下車。もしくは近鉄六田駅、大和上市駅からタクシーが便利。
- ※建物内の拝観を希望される場合や、説明をお聞きになりたい場合などは、事前にご連絡ください。TEL.0746-32-5976



全国の修験者が旅の安全を祈った権現堂

約1300年前に修験道の開祖・役行者により建立された泉徳寺。今木権現堂にある金剛力士像には、古くから全国の修験者が参拝し、旅の安全を祈願したとされています。この力士像は、吉野郡でも吉野山の蔵王堂を除けば大淀町にしかなく、町指定文化財となっています。

- 大淀町ふれあいバス「今木大井出」下車、徒歩すぐ。今木権現堂は、泉徳寺東側の山上。
- ※建物内の拝観を希望される場合や、説明をお聞きになりたい場合などは、事前にご連絡ください。TEL.0745-67-1731



深い歴史が数多く残る  
大淀町観光  
スポット

## 大淀古道 (壺坂道)



仏教文化と共に  
栄えた古道

貴族が飛鳥から吉野に入る道として、最も古くに開けた大淀古道(正式名称は壺坂道)。この道を往来する貴族からもたらされた仏教文化は、壮麗な吉野寺の建立につながり、吉野における仏教文化の始まりとなりました。

- 近鉄六田駅からタクシーが便利。

## 石神古墳



吉野郡域で最大規模の横穴式石室

巨石を積み上げた石室は、飛鳥の古墳とのつながりを示し、石室から見つかった結晶片岩の棺材や7世紀中頃の須恵器は、紀ノ川流域との交流をうかがわせます。平成24年3月、県指定文化財に指定されました。

- 大淀町ふれあいバス「おおよどパークゴルフ場前」下車、北へ徒歩約10分。

## 柳の渡し



大正8年まで続いた渡し

かつて、橋がないところでは川に舟を浮かべて渡っていました。大淀町と対岸の吉野町を結んでいた町指定文化財・柳の渡しは、平安時代、醍醐寺を開いた聖室理源大師が設けた吉野川最古の渡しと言われています。

- 近鉄六田駅から東へ徒歩約5分。国道169号沿い。

## 石塚遺跡



行者の祈りが込められた石塚

車坂峠の頂上にある町指定文化財・石塚遺跡。全国から訪れた行者たちが旅の無事を願って積み上げたという石塚が残されています。遺跡付近にあった行者堂は、昭和13(1938)年に吉野川河畔の鈴ヶ森へ移されています。

- 近鉄下市口駅からタクシーが便利。

## 保久良古墳



「たけるおう 建王の「もがり塚」の伝承をもつ古墳

生まれつき声が出ず、8歳で亡くなった天智天皇の皇子・建王。そのなきがらをおいた「もがりの場」が今木の地につくられたと『日本書紀』に記録されており、それが町指定文化財・保久良古墳であると伝えられています。



出土した琥珀玉

- 大淀町ふれあいバス「今木中垣内」下車、徒歩すぐ。